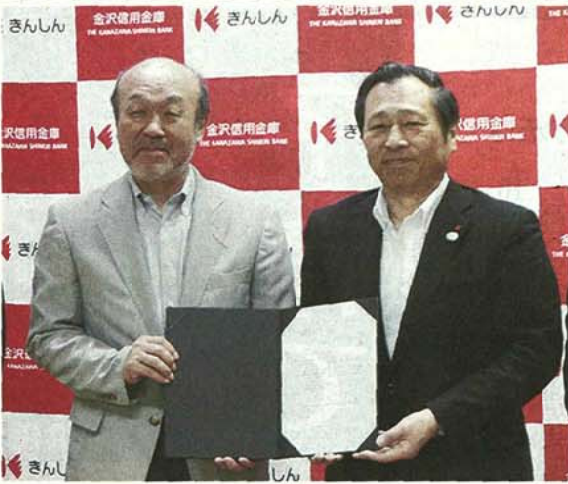


判断項目	今回の判断
日銀金沢支店7月の北陸3県の景気判断	緩やかに拡大して 着実に持ち直して 振れを伴いつつも、 としては増加して 高水準となってい 増加している 強い増勢が続いて 着実に改善してい 上昇している
全個人消費	緩やかに拡大して
住宅投資	振れを伴いつつも、 としては増加して
設備投資	高水準となってい
公共投資	増加している
生産	強い増勢が続いて
雇用・所得	着実に改善してい
物価	上昇している

金沢信金と推進機構 賃貸、売買促進へ

金沢信用金庫（金沢市）と金沢町家活用推進機構（同市）は十三日、歴史的建造物「金沢町家」の利活用を進める取り組みで連携すると発表した。賃貸や売買を進め、商業振興や雇用創出など地域活性化につなげる。（石井真穂）



会見した金沢信金の忠田秀敏理事長と金沢町家活用推進機構の川上光彦代表理事。金沢市内で

町家 利活用で連携

増加基調だが、五月の新設住宅着工戸数は前年同月比11・0%増、四月は18・1%減など月ごとにはばらつきが見られた。五月は富山と福井両県で前年割れになるなど地域差もあった。住宅ローンが低金利で家を建てる人が多かった状況に一服感も見られ、不安定な状況の有効求人倍率が一・九〇倍と一九九二年二月以来の高水準になったことに「人手不足感が強まると緩やかに賃金上がるが、賃金上昇を価格に転嫁できないなどの影響もある。プラス面がマイナス面を上回っているが、注意深く見ていく」と話した。

金沢信金と機構によると、金沢町家は一九五〇年以前に建築され、町家、武士系住宅、足軽住宅、近代和風住宅のいずれかの建築様式がある。戦前の四五年以前の建築物は九九年に一万九百棟あったが、後継者不足や老朽化で二〇一六年には六千棟に減少し、このうち空き家は八百棟といわれている。金沢市は昨年、町家の魅力を発信する「金沢町家情報館」を設けるなど対策を推進。ゲストハウスやカフェなどへの利活用で需要は高まっている。一方で不動産情報が少なく、修繕費用などの問題で利活用には課題が残っていた。連携では、機構が町家の所有者に改修や利活用を提案し、利活用を考えている人を紹介。管理運営業務も代行する。金沢信金が事業計画で所有者の相談にのり、町家の購入や改修などをしやすい融資商品の開発を検討する。

両者は市内で会見し、金沢町家活用推進機構の川上光彦代表理事は「金沢町家は貴重な財産であり、利活用が必要」、金沢信金の忠田秀敏理事長は「金沢の風情ある町並みを維持し、移住定住の促進や雇用創出につなげたい」と話した。

連携では日本財団（東京）の「わがまち基金」の助成金を活用する。財団は四月、地方創生を目的に基金を創設。全国の信金から今回の取り組みを含む九事業を選んだ。北陸からは最大一千万円を助成する。



伝統産業 後押し誓う

北陸、大垣共立銀「応援団」が発足



「地方銀行未来応援団」

北陸銀行 OKB 大垣共立銀行 SHINTOTSUSHIN

北陸銀行(富山市)と大垣共立銀行(岐阜県大垣市)は十三日、インターネットで事業資金を募るクラウドファンディングを既存のサイト「未来ショッピング」を活用し、他の地銀にも参加を呼び掛ける。広告代理店の新東通信(名古屋)が団体の事務局となり、遠隔地の事業者を仲介する。

アンディングの方法で伝統産業を支援する「地方銀行未来応援団」を設立した。ちようちゃんや木工品、鋳物など伝統工芸の継承が目的。事業者同士の協業による新商品・サービスの開発を支援する。クラウドファンディングは既存のサイト「未来ショッピング」を活用し、他の地銀にも参加を呼び掛ける。広告代理店の新東通信(名古屋)が団体の事務局となり、遠隔地の事業者を仲介する。

東京都内で会見した北陸銀の庵栄伸頭取は「昔ながらの方法では販路開拓が難しくなっている伝統産業のために知恵を出したい」と話し、大垣共立銀の土屋曉

出荷 夏本番

鯖江のサングラス